

MINATO

たろう通信

こさい太郎(みなとかがやき)議員活動リポート

Mar.1999/Vol.11

編集発行 みなとかがやき
共同編集 こさい太郎を育てる会
〒107-0062 港区南青山 6-2-6-203
Tel 5485-9111 Fax 5485-9100
e-mail taro@hinet-j.co.jp

こさい太郎を励ます会を 開催いたします！

お誘いあわせの上、みなさまのご参加をお願いいたします

この度、こさい太郎がこの4年間の活動をご報告申し上げると共に、今後の決意を述べさせて頂きたく、下記の通り「こさい太郎を励ます会」を開催する運びとなりました。また、元経済企画庁長官の田中秀征さんにもお越し頂き、応援のメッセージを頂く予定であります。みなさまご多用とは存じますが、何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。

こさい太郎を励ます会

4月14日(水)

午後6時30分～7時30分

ホテルフロラシオン青山にて

港区南青山4-17-58 3403-1541

ゲスト:田中秀征さん 他

なお、会費は無料です

郵送にてこの通信をお手元にお届けしたみなさまには、同封の出欠はがきをご返送頂きますようお願い申し上げます。

また、それ以外の方でご参加頂けます方は、お電話・FAX・E-Mailにて事前にご連絡頂ければ幸いです。

お申し込み、お問い合わせは
下記までお願いいたします。

こさい太郎を育てる会

TEL:5485-9111

FAX:5485-9100

E-MAIL: taro@hinet-j.co.jp

学童擁護職（通称：緑のおばさん）廃止、用務員が兼任へ 実質 20 名の職員削減で年間 1 億 5000 万円（推定）の支出減 （東京 23 区ではじめて）

学童擁護職（緑のおばさん）とは？

区立小学校に通う生徒の登下校時、生徒が交通事故などに遭わないようにと、交通の激しい横断歩道等に立つ職員のことです。この職員は区役所の正規職員で、これまで各小学校 2 名配置されていました。港区の小学校は 20 校ですから、40 名の職員が勤務しています。

学童擁護職（緑のおばさん）に対する疑問

この職員のみなさんの定められた業務は、朝と午後、すなわち生徒の登下校時に決められた場所に立ち、子供たちの安全を守るということです。裏を返せば、それ以外の時間は仕事がないわけです（実際は、学校内の雑務にあたっている場合もあるようだが、正式な業務ではない）。それでいて区役所の正規職員ですから、年功序列型の賃金が保障されているわけで、効率的な区政を目指す立場からは、この業務単独で正規職員を配置することは極めて疑問です。ちなみに、学童擁護職員一人あたりの平均収入は、700 万円から 800 万円にもなります。

こさい太郎（みなとかがやき）の取り組み

学童擁護職以外に、学校警備職員や給食調理職員のあり方についても同様の問題点があります。つまり、業務そのものが必要かどうか、コストの高い正規職員で対応すべきかどうか、機械化や民間委託を導入すべきでないか、ということです。歴史的経緯から、学校にまつわる業務は「正規職員で対応しなければならない」という暗黙の了解が存在していました。したがって、この部分は聖域としてメスが入りませんでした。しかし、きちんと検証してみると、その確固たる理由は存在しませんでした。いまや、民間では、建物の警備のために人を雇っている会社はほとんどなく、機械化と警備会社への委託契約で対応しています。また、

給食調理を正規職員で行なっていることについては、「民間に任せるには安全性・衛生管理等に課題が残る」として、民間委託の導入に難色を示していますが、役所が行なえば安全できれいでおいしく、民間では信頼できないという発想はきわめて問題です。今は、逆に競争原理が働かず密室性の強い役所の仕事にこそ、私たちは不信感を抱いているのですから。そこで、区民のみなさまをはじめさまざまの方にご意見を伺ったところ、多くの方は「緑のおばさん」については「ボランティア」だと思われており、また、学校警備に関しては、職員を配置していることさえご存知ありませんでした。そして、事実を知ると、ほとんどの方は驚きの声をあげて見直すべきとおっしゃいました。私は、学校警備は機械化・民間委託、給食調理も民間委託、学童擁護はなるべくボランティアの方をお願いし将来的には業務そのものを見直す、という立場で、議会の中で提案し主張を続けました。

ついに、学童擁護職を廃止へ！

そして、私たちの提案が実り、ようやくこの 4 月より、学童擁護職が廃止となります。内容は、学童擁護職を廃止し用務員職と統合した上で、各学校 1 名づつ計 20 名の職員を削減するというものです。緑のおばさんの行なっていた業務は、用務員の仕事に含まれることとなり、交代で行なうこととなりました。これにより、推計で 1 億 5000 万円前後の経費削減となります。この結果だけに満足せず、これからも学童擁護の業務そのものの必要性を問うていくと共に、学校警備や給食調理に付いても出来るだけコストのかからない方を早期導入できるよう頑張ります。今後とも、これらの問題に限らず、みなさまからお預かりした税金を有効に活用すると同時に、役所が直接やらなければならない仕事は何かを精査し、そうでないものは民間に任せるという基本姿勢で活動が続けてまいります。みなさまのご指導とご支援をお願いいたします。